

ワークショップの成果報告とその後の対応



1-1 .ワークショップ開催の経緯

【 情報共有 】 2012年～現在：懇話会、説明会、地区連絡会

- 施設の整備計画について皆さまにお知らせするため、懇話会や説明会、地区連絡会を通じ、市から計画の検討状況の報告を行っています。
- 各会場での質疑応答を通じ皆さまからご意見・ご要望を頂きました。

【 施設整備に関する課題の把握 】 2014年4月実施済み：意見募集

- 建設予定周辺の地域の皆さまが、どのような機能・施設が重要だと考え、整備すべきだと考えているか把握するために、地区連絡会においてアンケート調査を実施し、皆さまからのご意見・ご要望を収集しております。

【 皆さまからのご意見・ご要望の具体化 】 2014年10・11月ワークショップ開催

- 2014年4月に実施した意見募集結果に基づき、皆さまのご意見・ご要望をより具体化するため、建設予定地周辺の地域の皆さまと協議・検討する場として、ワークショップを開催しました。

1-2.資源ごみ処理施設の整備に関する説明会等実施状況

※相原地区資源ごみ処理施設連絡会設立後の状況を示します。

年月日	説明会等名称	対象者	年月日	説明会等名称	対象者
H26.10.19	第1回地区連絡会	地区連絡会委員	H26.4.1 ～ H26.4.21	相原地区における ご意見・ご要望の 募集	相原地区在住者 通勤・通学の方
H25.10.25	説明会	大戸地区住民			
H25.11.13	説明会	ゆくのき学園PTA	H26.4.9	説明会	相原地区連合 町内会
H25.11.19	類似施設視察 昭島市環境コミュニ ケーションセンター	近隣住民 ゆくのき学園PTA 地区連絡会委員			
H25.12.12	意見交換会	大戸地区住民	H26.5.17	第4回地区連絡会	地区連絡会委員
H26.1.18	説明会	ゆくのき学園保護者	H26.5.31	説明会	大戸地区住民
H26.1.24	説明会	ゆくのき学園保護者	H26.6.7	類似施設視察 リレーセンターみなみ	地区連絡会
H26.1.25	第2回地区連絡会	地区連絡会委員	H26.7.17	説明会	大戸地区住民
H26.1.28	大戸町会ごみ資源 化施設検討委員会 から要望書受領		H26.7.25	説明会	大戸地区住民
H26.2.5	説明会	相原地区連合 町内会	H26.7.26	説明会	大戸地区住民
H26.2.7	類似施設視察 寒川広域リサイクル センター	近隣住民 地区連絡会委員 ゆくのき学園保護者	H26.9.6	第5回地区連絡会	地区連絡会委員
H26.3.1	第3回地区連絡会	地区連絡会委員	H26.10.18	ワークショップ第1回	近隣住民 地区連絡会委員
H26.3.16	説明会	大戸地区住民	H26.11.1	ワークショップ第2回	ゆくのき学園関係者
			H27.1.31	第6回地区連絡会	地区連絡会委員

1-3.ワークショップの目的

<目的>

現在検討中の施設整備計画に、近隣住民の方々のご意見・ご要望を反映し、地域の魅力や価値をより一層高めるため『ごみ処理以外に施設に対して求める機能の整備』について協議しました。

<テーマ>

- **相原地区資源ごみ処理施設の整備において、ごみ処理以外に施設に対して求める機能を検討・整理しました。**
- **資源ごみ処理施設周辺の整備方針を検討しました。**

1-4.ワークショップ参加者の構成

ワークショップでは、幅広い世代・様々な役割の方々が、知識や経験を活かして意見を出し合い、地域にとってより良い計画となるよう協議・検討しました。

【ワークショップの開催人数】：25名（地区連絡会委員含む）

【参加者の構成】：(なるべく年齢や役割が偏らないようご参加頂きました)

商工会等会員・役員

町会・自治会 会員・役員

学校PTA（保護者・教職員）

地域で働く人



地域で暮らす人



地域で学ぶ人



【作業グループの構成】：多面的かつ活発な議論が促されるよう、年齢・役割に偏りのない少人数のグループに分かれて作業に取り組んでいただきました。

1-5.ワークショップの実施概要

【第1回】STEP1: 課題の抽出・確認と課題の重要度の整理

① 課題の抽出・確認

これまでに提示された意見・要望もふまえながら、ごみ処理以外に施設に対して求める機能や、計画地周辺の課題を抽出しました。

⇒【成果物】：施設および施設周辺の課題マップ

② 課題の重要度の整理

①で抽出した課題について、各々の重要度を検討し、特に地域にとって必要であると考えるものをまとめました。

⇒【成果物】：整備重要度のまとめ表

【宿題】 課題への対応方法の検討

STEP1で整理した「課題」について、どのように対応するのが良いか、参加者各自でイメージ写真や参考となる情報を収集しました。

【第2回】STEP2: 施設周辺整備方針・要望の具体化

各自が収集したイメージ写真や参考情報を持ち寄り、「課題」への対応方法案をまとめ、要望をより一層具体化しました。

⇒【成果物】：課題へのアクションプラン

1-6. 2014.10.18【第1回】STEP.1 ① 課題の抽出・確認

＜施設および施設周辺の課題マップの作成＞

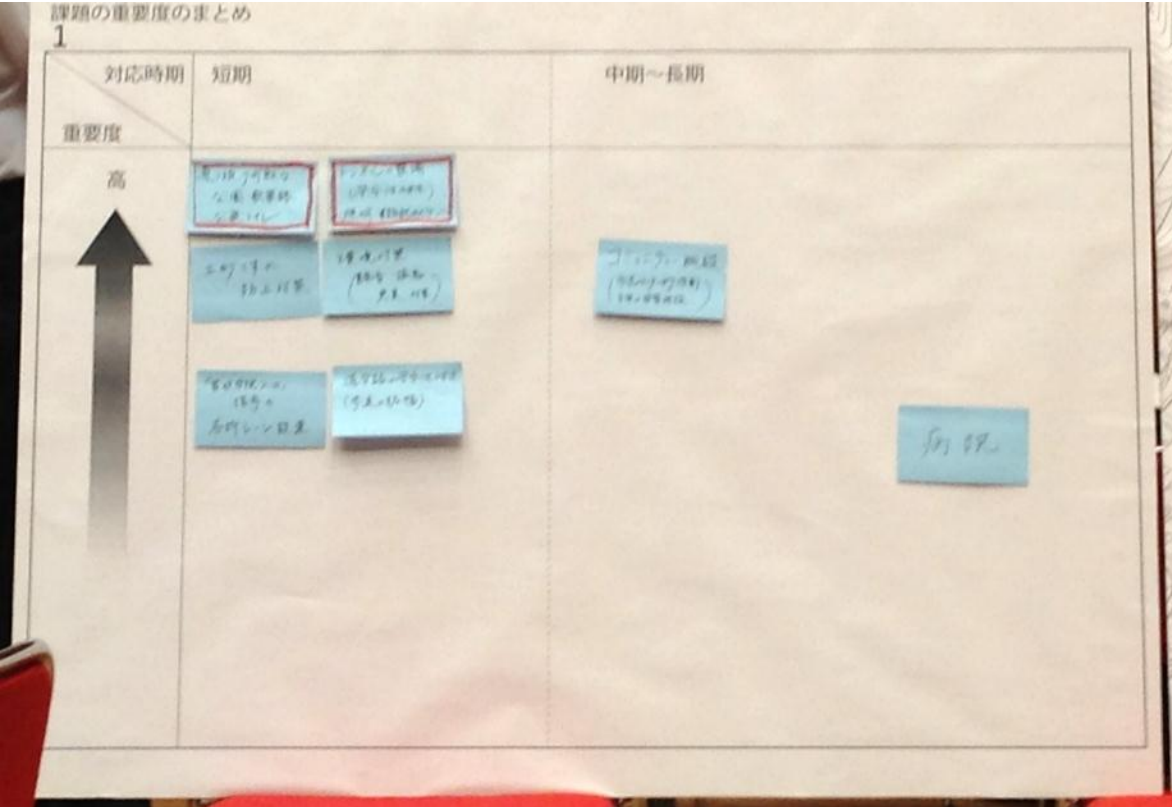
・・・チームごとに、参加者が白地図に、課題を記入した付箋紙を貼って作成しました。
(参考として、会場にこれまでに頂いた意見・要望を掲載した地図を掲示しました。)



※ 完成したマップは、施設周辺のみなさんのご要望・ご意見として、今後の施設整備計画の検討に使用いたします。

<課題の重要度のまとめ表>

・・・①で抽出・確認された課題について、チームごとに重要度のまとめ表を作成しました。特に重要度が高く、短期で対応したい項目を、STEP2で重点的に具体的な対応策(=アクションプラン)を検討する項目として、抽出しました。



対応時期	短期	中期～長期
重要度		
高		



※ 完成した年表は、施設周辺のみなさんのご要望・ご意見として、今後の施設整備計画の検討に使用いたします。

<課題への対応方法の検討【宿題】>

- ・・・STEP 1 ②でまとめた「アクションプランを検討すべき課題」について、どのように対応するのが良いか、チーム内で課題ごとに担当者を決め（全員がいずれかの課題を担当）、各自でイメージ（写真、雑誌等の記事、パンフレット等）や情報（書籍、インターネットウェブサイトをプリントアウトしたもの等）を収集しました。

「通学路の安全性確保」

交通安全指導…

真米トンネルの防犯上の改善案…

「コミュニティ施設の整備」

子どもセンターのサテライト…

多目的ホール…

「公園・広場等の整備」

軽スポーツが楽しめる広場…

安全に遊べる場所…



1-9. 2014.10.18【第2回】

STEP.2 施設周辺整備方針・要望の具体化

<課題へのアクションプランの作成>

・・・収集したイメージ写真や情報を持ち寄り、チーム内で発表しあうことで情報共有し、STEP 1 で決めたテーマにどのように対応したいのか、要望をより具現化したかたちで「アクションプランを検討すべき課題」ごとに数枚の模造紙にまとめました。

最後に、チームごとにアクションプランを発表し、参加者全員で共有しました。



※ 完成したシートは、施設周辺のみなさんのご要望・ご意見として、今後の施設整備計画の検討に使用いたします。

2-1. アクションプランの対応の流れ

アクションプランの取りまとめ（実施済み）



市の関係部署等で対応の検討（実施中）



相原地区連絡会で報告及び検討



施設整備計画に反映

2-2. アクションプランの概要と市の対応方針の報告

＜アクションプランの概要＞

・・・3チームから提出されたアクションプランの主旨と、アクションプランをうけた市の対応方針は、下表に示すとおりです。

番号	相原地区資源ごみ処理施設周辺のアクションプラン
1	【施設】安全・防災・災害時対応
2	【施設】環境エコ対策
3	【施設】計画地内の既存緑地・自然地の保護
4	【施設】環境学習の場の整備
5	【付帯施設】コミュニティ施設の整備
6	【付帯施設】郷土資料館等、相原の観光資源を活かす施設の整備
7	【施設周辺】公園・広場等の整備
8	【施設周辺】町田街道・通学用歩道の道路整備
9	【施設周辺】景観への配慮
10	【施設周辺】市道701号線のトンネル（真米トンネル）の安全確保
11	【施設周辺】安全・防災・災害時対応
12	【施設周辺・広域】コミュニティバスの整備

2-3. アクションプランの概要と市の対応方針の報告【詳細】

1. 【施設】安全・防災・災害時対応		
アクションプランの主旨	市の対応方針(2015年1月現在)	
安全のための施策として、施設内に運転状況等を常に周辺住民が監視できるような仕組みを導入したい	環境資源部	資源ごみ処理施設の公害防止につきましては、万全を期して対策を講じていきます。なお、具体的な対策方法や表示板設置等に関しましては、今後地区連絡会等で検討いたします。
施設の敷地に災害時避難場所を確保する	環境資源部 市民部	資源ごみ処理施設の整備においては、『町田市循環型施設整備基本計画』（2013年4月策定）「第10 求められる機能・役割」にも示したとおり、災害に備えて、防災拠点としての役割を果たせるように整備いたします。具体的な内容については、今後、庁内で調整いたします。

2. 【施設】環境エコ対策		
アクションプランの主旨	市の対応方針(2015年1月現在)	
太陽光発電・風力発電の利用、雨水の有効利用、エコ収集車の導入などを行い、循環型社会に寄与する施設、地球にやさしい施設にしたい。	環境資源部	自然エネルギーを利用するシステムや、環境に配慮した設備の導入などについては、今後地区連絡会等で検討いたします。

2-3. アクションプランの概要と市の対応方針の報告【詳細】

3. 【施設】計画地内の既存緑地・自然地の保護		
アクションプランの主旨	市の対応方針(2015年1月現在)	
既存の自然を残した施設整備を行ってほしい	環境資源部	資源ごみ処理施設の整備においては、相原の自然豊かな環境に配慮し、施設の安全な運営や安定稼働に支障のない範囲で、できる限り既存緑地を活かした施設整備を行うよう検討いたします。(現在、自然環境調査を実施中)

4. 【施設】環境学習の場の整備		
アクションプランの主旨	市の対応方針(2015年1月現在)	
施設内に工場見学のための空間等、環境学習ができる場を整備したい	環境資源部	資源ごみ処理施設の整備においては、『町田市循環型施設整備基本計画』(2013年4月策定)にも示したとおり環境学習の場を設けます。具体的な内容については、今後地区連絡会にて検討していきます。

5. 【付帯施設】コミュニティ施設の整備		
アクションプランの主旨	市の対応方針(2015年1月現在)	
施設内に会議室・音楽室・体育館など近隣住民が気軽に利用できるコミュニティ施設や、健康づくりに活用できるスポーツ施設を整備したい。	文化スポーツ 振興部 市民部 学校教育部 環境資源部	コミュニティ施設やスポーツ施設、子どもセンター等の整備については、必要性等も踏まえ、今後、庁内で調整いたします。
近隣に子どもが安全に遊べる施設がない。子どもセンターのサテライト施設が整備されると良い。		
大戸公会堂の代わりになるような機能(ホール等)があると良い。	環境資源部	多目的ホールにつきましては、資源ごみ処理施設内に設けることが可能ですので、設置する方向で運営も含めて地区連絡会にて検討していきます。

2-3. アクションプランの概要と市の対応方針の報告【詳細】

6. 【付帯施設】郷土資料館等観光資源を活かす施設の整備

アクションプランの主旨	市の対応方針(2015年1月現在)	
相原の歴史や史跡、著名人等の観光資源を紹介する郷土館の整備	文化スポーツ 振興部 環境資源部	ごみ減量化等の展示につきましては、資源ごみ処理施設内に設けることが可能ですので、設置する方向で地区連絡会にて検討していきます。また、郷土の資料につきましては、資源ごみ処理施設内のスペースの利用や市立博物館の活用等の検討を行います。

7. 【施設周辺】公園・広場等の整備

アクションプランの主旨	市の対応方針(2015年1月現在)	
通り抜け可能な公園・散策路	都市づくり部 環境資源部	資源ごみ処理施設の隣接地域を公園として整備いたします。公園の整備方法につきましては、今後地区連絡会等で検討していきます。
学校裏口から公園・散策路に通じる通路の整備		
子どもの遊び場の整備		
どんど焼き等のイベントができる広場・軽スポーツができるグラウンドの整備		
ハイキングコース・ジョギングコースの整備		
付近を散策する人向けの公衆トイレの整備		
相原の景観を楽しめる展望台の整備		

2-3. アクションプランの概要と市の対応方針の報告【詳細】

8. 【施設周辺】町田街道・通学用歩道の道路整備	
アクションプランの主旨	市の対応方針(2015年1月現在)
<p>通学路の安全確保のため、収集車の通行時間帯を登下校時間から外すなど、収集車の通行を制限する</p>	<p>環境資源部</p> <p>資源ごみの収集エリアや収集ルートを検討とあわせて収集時間帯についても配慮し、児童の登下校の際の安全性が確保されるよう検討いたします。</p>
<p>登下校時間帯に、交差点等の危険個所で警察官等による誘導・安全指導を行う</p>	<p>建設部 教育部</p> <p>周辺の通学路の整備につきましては、地権者の協力を得ながら、通学路の安全確保の観点から、未舗装道路の舗装化や街路灯の設置等の整備を検討してまいります。 その他の道路整備等につきましては、今後、庁内で調整いたします。</p>
<p>町田街道の渋滞は、右折車が原因となっていることが多いと考えられるため、右折渋滞対策のため時差式信号を設置したり、長期的には右折レーンを設置する</p>	
<p>児童が通学に利用している市道堺412号線（畑の中の通路）を通学用歩道として整備する</p>	
<p>町田街道の歩道を拡幅する（歩道が無い、歩道の中央に電柱が設置されている部分などには道の片側だけでも歩道を整備してほしい。）</p>	

2-3. アクションプランの概要と市の対応方針の報告【詳細】

9. 【施設周辺】景観への配慮

アクションプランの主旨	市の対応方針(2015年1月現在)	
施設周辺の景観に配慮することで、施設のイメージアップを図る	都市づくり部 環境資源部	周辺地域の景観に配慮しながら、施設や進入路を計画いたします。具体的な方針については、今後地区連絡会等で検討していきます。

10. 【施設周辺】市道701号線のトンネル（真米トンネル）の安全確保のための整備

アクションプランの主旨	市の対応方針(2015年1月現在)	
明るいトンネル、防犯上安全なトンネルにする（2014年10月時点では、トンネル内において照明が間引き点灯された状態になっており、暗く、防犯上不安がある）	建設部 市民部	現地を確認し、調光システムの故障が原因でトンネル内照明が暗くなっていたことが判明しました。2014年11月よりトンネル内の全照明を点灯し、十分な照度が確保されるよう改善しました。さらなる対策の必要性については、今後、庁内で調整いたします。
未舗装のトンネル周辺の歩道整備	建設部	今後の周辺道路の整備につきましては、地権者の協力を得ながら、通学路の安全確保の観点から、未舗装道路の舗装化や街路灯の設置等の整備を検討してまいります。

2-3. アクションプランの概要と市の対応方針の報告【詳細】

1 1. 【施設周辺】安全・防災・災害時対応

アクションプランの主旨	市の対応方針(2015年1月現在)	
<p>現況、雨上がりに土砂が流れてくる。公園整備を通して土砂崩れの対策工事を行いたい。</p>	<p>環境資源部</p>	<p>資源ごみ処理施設計画地周辺からの市道への土砂流出につきましては、公園整備のなかで対応を図ります。また、公園整備までの間につきましても、暫定的な対策を検討いたします。</p>
<p>大戸は大雪による災害が多い。雪害時に住民が利用できる除雪車等を配備したい。</p>	<p>建設部</p>	<p>雪害対策につきましては、関係機関との連携、自主防災組織を中心とした地域ぐるみの除雪活動の働きかけ、地域防災計画における各対策部の活動マニュアルの整備等を行い、全市的な対応を図っていきます。 さらに、建設部の現行制度（自主防災組織に対する補助金や凍結防止剤の支給等）をご利用いただくとともに、新たな資源化施設で使用する重機の利用の可能性について、今後検討いたします。</p>

1 2. 【施設周辺・広域】コミュニティバス等の整備

アクションプランの主旨	市の対応方針(2015年1月現在)	
<p>相原地域の南北をつなぐコミュニティバスがあると良い。（例：大戸⇒ななくに診療所⇒八王子みなみ野駅⇒八王子医療センターを循環するバス） 目的地へのシャトルバスや、乗合タクシーの導入等も検討したい。</p>	<p>都市づくり部</p>	<p>コミュニティバス等の整備については、必要性等も踏まえ、今後、庁内で調整いたします。</p>